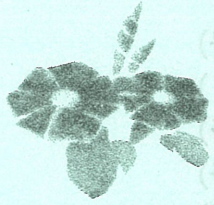


社協だより

発行：上田上学区社会福祉協議会



「共に支え・助け合う地域福祉のまちづくりをめざして」

上田上学区社会福祉協議会会長 西村 義則

上田上学区の皆様方には、日頃より当学区社会福祉協議会の活動に対し、温かいご支援とご協力をいただき厚くお礼を申し上げます。

去る5月23日（土）に開催されました平成27年度総会にて、全ての提案議案について承認・可決されるとともに、引き続き当学区社協の会長に選任賜り地域福祉活動に携わらせていただくことになりました。皆様方のお力添えを何卒宜しくお願い申し上げます。

◆来る2025年には、団塊の世代が75歳以上となり、我が国の総人口の4人に一人が75歳以上となる超高齢社会が到来致します。

同時に、介護が必要な高齢者の数が急増すると見込まれております。

これに備えるべく、国は介護保険法を改正し、2025年には3人に一人が65歳以上、4人に一人が75歳以上になる「大介護時代」を乗り切るべく、2014年6月に「医療介護総合確保推進法」が制定され、「地域包括ケアシステムの構築」とともに、2015年から介護保険制度の大きな見直しが行われているところであります。

その主な改正点は、次のとおりです。

①所得が一定以上の利用者の自己負担が、2割に増大。

これまで介護保険サービス利用者負担は、年収などにかかわらず1割でありましたが、2015年8月から合計所得金額160万円以上（年金収入ですと単身280万円以上）の人は、自己負担が2割に増大となります。

②高額介護サービス費の上限が引き上げに。

介護サービスとりわけ高額介護サービス費の利用にあたっては、所得に応じて決められている自己負担限度額が引き上げとなります。

③一方、低所得者の介護保険料は、軽減率が拡充。

65歳以上の所得の低い人の保険料の軽減率が、2015年4月から拡大され保険料負担が軽くなります。（対象は世帯全員が市県民税が非課税か、本人が非課税）

④特別養護老人ホームへの入所は、要介護3以上に。

2015年4月より特別養護老人ホームへの新規入所者は、原則として要介護度3以上の人に限定されます。

⑤「要支援」サポートは、市町村の地域支援事業に移行。

要支援1・2を対象とする予防給付（訪問介護と通所介護）は、2015年4月から市町村の地域支援事業として取り組まれます。

◆少子高齢化が一段と進む上田上学区におきましては、本年度も引き続き、地域住民同士の「声掛け・見守り・助け合い」の気持ちあふれる福祉のまちづくり・人間性豊かな福祉社会の実現を目指して、地域社会を大切に育む地域福祉活動を皆様とともに鋭意推進・実践してまいりたいと考えておりますので、皆様お一人おひとりのご支援、ご協力そしてご参加を、何卒よろしくお願い申し上げます。

★平成 27 年度学区社協の役員・福祉委員の紹介

去る 5 月 23 日の学区社協総会にて、本年度の社協役員として下記の方々が選任されました。並びに本年度の福祉委員として大津市社協会長より委嘱された方は下記の皆様です。学区皆様方のご指導をいただき乍、より一層の地域福祉活動の推進に努めてまいります。

『学区社協役員』

会 長	西村 義則	(社 協)
副 会 長	谷本 眞澄	(自治連)
副 会 長	山本 文代	(女性会)
会 計	山本 滋	(自治連)
監 事	井上 二三雄	(自治連)
監 事	矢部 由継	(自治連)
事務局長	古家 輝二	(民児協)

『学区社協福祉委員』

山本 榮治	(大鳥居)
古市 寿子	(牧)
山本 祥介	(平 野)
高尾 キヨ子	(中 野)
柴原 三十二	(芝 原)
前田 正康	(堂)
西村 正明	(新 免)
新川 隆也	(白百合)

◎これまでの主な事業

5 月 学区社協 27 年度総会 (5 月 23 日) 上田上市民センター

26 年度事業及び決算報告と 27 年度役員案、事業計画案及び予算案について審議いただき、承認・可決いただきました。本年度も事業計画を着実に取り組んでまいります。皆様方のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

6 月 市社協東部ブロック連絡会議 (6 月 20 日) 青山市民センター

27 年度は青山学区社協が幹事学区となっております。各学区共通の問題の取り組みをはじめ、地域福祉講座や研修会を実施してまいります。

27 年度学区社協三役・福祉委員合同会議 (6 月 25 日) 上田上市民センター

福祉委員の委嘱について、

27 年度事業計画と当面の事業日程、その他について

今後の主な事業

7 月 広報紙「社協だより」の発行

救急医療情報キッズ「いのちのバトン」事業の継続・推進 (7～8 月)

夏休み街頭パトロール

8 月 学区社協理事会

無縁仏追悼法要

子どもの居場所づくり事業

9 月 学区福祉委員・役員研修

学区町内敬老会支援

《夏休み期間中の街頭パトロールの実施》

地域で子どもたちの安全を見守りましょう。

上田上学区では自主防犯推進協議会、青少年育成学区民会議等各種団体の協力子どもたちを事故や非行から守るために学区内及び周辺地域の街頭パトロールを実施致します。

★平成26年度学区社協収支報告

収入の部

科 目	金 額	摘 要
会 費	373,120	自治連負担金 @580×614戸 356,120 (歳末助け合い募金@130を含む)
		賛助会費 17,000
助 成 金	411,235	市社協からの活動助成等 学区社協基盤強化費 150,000 学区社協活動費等 67,980 福祉のまちづくり講座助成金 50,000 大津市高齢者ふれあい助成金 120,000 共同募金配分金 23,255
雑 収 入	28	預金利息 28
繰 越 金	116,952	前年度からの繰越金
合 計	901,335	

支出の部

科 目	金 額	摘 要
事 業 費	255,273	ボランティア活動助成 38,000 慰霊祭助成金 40,000 長寿ふれあいサロン助成 35,000 無縁仏法要 22,880 子育て支援事業助成 30,000 三世代交流事業助成 10,000 青少年育成事業助成 30,000 文化祭啓発品 2,858 高齢者健康づくり教室 21,535 ふれあいコンサート 25,000
繰 出 金	10,000	法外援護基金特別会計へ繰出し
清掃委託費	17,500	忠魂碑等の清掃委託費
敬老会費	268,784	敬老会開催経費
歳末助け合い事業費	77,469	歳末助け合い募金配分
会 議 費	0	
基盤強化費	28,000	人推協・社協合同視察研修経費、他
事 務 費	13,800	広報発行用紙代等事務用品
分 担 金	95,400	市社協会議費等参加費 4,000 市社協協会費 61,400 東部ブロック関係経費 30,000
交 際 費	5,000	学区運動会お祝
旅 費	10,000	会長・事務局長旅費
予 備 費	2,800	文化祭賄い
合 計	784,026	

収入額901,335円－支出額784,026円＝残額117,309円

残額117,309円については次年度に繰り越します。

ご協力誠に有り難うございました。

平成27年度も貴重な財源を有効に活用させていただきます。

《土田土佐子・喜沢悦子・金委・山本》

★平成27年度学区社協活動重点目標

1・見守り・声かけ・支え合い運（活）動の推進

：地域防犯活動の推進、歳末助け合い・共同募金啓発活動の推進、地域高齢者ふれあいサロン開催の推進

2・住民同士のつながりを大切にした小地域福祉活動の推進

：地域福祉講座・長寿ふれあいサロンの開催や敬老会事業開催への支援、ふれあいコンサート開催他

3・高齢者・介護支援活動や健康増進活動等の推進

：介護者のつどいの開催、高齢者健康料理教室の開催、いのちのバトン事業の継続推進他

4・子ども・子育て支援活動の推進

：子育て支援事業の推進、世代間交流事業の推進他

5・災害に強いまちづくりの推進

：災害ボランティア活動・防災活動に必要な資機材（防災テント等）の整備他

★平成27年度月別事業計画

月	事業内容	月	事業内容
5	総会	11	学区文化祭出展 学区社協・人推協合同研修 戦没者追悼法要 子育て広場支援
6	福祉委員委嘱・福祉委員研修 学区社協三役・福祉委員合同会議 地域防犯活動（地域の子ども見守り運動）	12	歳末助け合い運動 なのはなふれあいクリスマスコンサート 学区社協三役会議 冬休み一斉街頭パトロール 子どもの居場所づくり事業
7	地域福祉講座 夏休み一斉街頭及び児童公園パトロール 広報発行（全戸配布）	1	学区世代間交流活動 広報発行（全戸配布） 地域福祉講座
8	学区社協三役会議 学区社協理事会 無縁仏追悼法要 子どもの居場所づくり事業	2	子育て広場支援
9	学区福祉委員・役員研修会 学区町内敬老会支援 学区介護者のつどい	3	学区社協三役 学区社協理事会 広報発行（全戸配布）
10	赤い羽根共同募金街頭啓発活動 高齢者ふれあいサロン（健康づくり教室） 広報発行（全戸配布）		

《安心・安全・豊かに暮らせる上田上》